

令和 4 年度

令和 5 年 8 月 30 日

施設関係者評価報告書

株式会社法人認定こども園ちびっこくらぶは、教育・保育目標や各種の子育て支援事業計画が、こども園運営規定に照らし合わせて自己点検・自己評価を実施し、「令和 4 年度施設関係者評価報告書」を作成しました。当園のホームページに公表します。

また、『施設関係者評価委員会』設置し、当園に関連する保護者・卒園生の方々、教育関係者の皆様より園の教育及び保育の内容や子育て支援等の方向性を含めた教育・保育及び運営に対して広くご意見・ご指導を賜りました。頂きましたご意見につきましては、『令和 4 年度施設関係者評価報告書』に掲載させていただきます。

今後の教育・保育及び子育て支援事業の運営に生かされ、認定こども園ちびっこくらぶが、『子どもの利益を最大限に』を目標達成出来るように、職員一同努力いたします。関係者の皆様には、今後とも一層のご支援・ご指導をいただきます様宜しくお願い致します。

ちびっこくらぶ株式会社

認定こども園ちびっこくらぶ

園長 中脇 節子

令和4年度 自己評価・施設関係者評価シート

1. 認定こども園ちびっこくらの教育・保育目標

- 1、よく見る。
- 2、よく聞く。
- 3、よく考える。
- 4、よく話す。
- 5、よく体を動かす。

をモットーに、子どもが豊かに伸びようとする可能性をひめています。その子供が今を最も生き、そして生きようとする力を育てることが目標です。0歳から就学前までの期間に多種多様な社会・文化の中を生き抜くための基礎となる目に見えない大切な根っこの部分を大きく強くそだてる手助けをします。

2. 本年度重点的に取り組むことが必要な目標や計画に対する評価

※ よく考える子をそだてよう

・何をしたいのか？・どうしたいのか？・・・自分で行動しようとする手立てを保育者は場面に応じて考慮する。

※ 友達との関わりを大切にすることを育てよう。

・ルールを理解して、その場に応じた言動が少しずつ身につくように、自分の気持ちだけでなく、友達の気持ちも考えることの大切さを少しずつ理解する。

※ 先生や友達と一緒に体を動かすことの楽しさを知る。

・会話だけでなく、遊びや目的を共有し、一緒に行動することで、大きな達成感や喜びを感じることができる場面をたくさん経験できるように、保育者は手助けをする。(個々の考えた思いを自分で伝えられるように経験の場を大切に見守る。…周りの思いを理解し共有する。)

3. 評価項目の達成と取り組みの状況

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	評価
保育課程(0～3歳) 教育課程(3～5歳)	認定こども園教育・保育要領を踏まえた上で、園の状況や地域に密着した教育・保育目標を作成し、個々の環境・育ち重視した、目標設定をする。 ※年間指導計画を基に期案・月案・週案・個別指導計画策定し、月毎にふりかえりを行う。	本園の保育目標や計画を全職員で共有し、各年齢に応じた月案・週案を重点目標に基づいて作成を行ったが、個人差大の0・1・2歳などの個別指導案の重要性を再認。 ・教育部分では、幅広い対応が求められたが、子ども一人ひとりの興味関心を大切にしながら、進めていく事で、大きな歩みを得た。	

4.5 歳児クラス名：いるか・くじら組

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	
<p>保育部分</p> <p>教育部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活を丁寧に日々過ごすことを大切に、活動の見直しをもった行動をとれるようになる。 ・ 色々な活動を通して、互いの意見を聞いたり、言ったりして、他を尊重できるようになる ・ 英語あそび・挨拶・色・ダンス ・ 食育(芋.野菜を育てて、焼き芋や調理したりして、食べる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の登園から持ち物の片づけや個々の体調についての発表、今日のしたい活動など意識を持って参加できるよう流れを大切にする(自由遊びの内容等) ・課題に取り組むときに皆の意見や希望などだしあって、決まったら一緒に頑張る。(運動会・ごっこ遊び・劇遊び) ・季節の作物を育て、お世話しながら、収穫することを皆で喜び食した。 	<p>A</p> <p>B</p>
<p>研修(資質の向上の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種マニュアルの確認 ・ 消火避難訓練 ・ 不審者対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の遊び(プール遊び・ごっこ遊び・劇遊び)などの注意事項 ・ マニュアル確認を職員会で共有 ・ コロナ感染者の対応策 ・ 中央分団の消防士の指導による避難訓練と消火方法の実技 ・ 種子島警察署の生活課職員 1 名 南種子交番 3 名の警察官が来られて、不審者対応方法の実技指導を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プール遊びでは、絶えず監視する人・中に入る人と分担して、実施する。 ・ 嘔吐の処置や喉に詰まらせた時の対応方法を学習する。 ・ いつもの避難の様子を見ていただき、検証をしていただき、意見伺い次回に生かしました。 ・ 実際に不審者が出没した時の手順や対策の内容など細かにチェックし今後訓練で修得したい。 	<p>A</p>
<p>・教育・保育環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室内の絵本・ブロック等の点検をして、修正して、大切に使うことをより掘り下げて話す。 ・ くじら組だけでなく、ひよこ組もたまご組も使うことを話す。 ・ 遊具の点検 うんてい・滑り台・三輪車など ・ 園庭の芝生・雑草・危険な物は取り除く。 ・ プランターや鉢植えの花を育て廊下や庭を飾ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 破けた絵本や図鑑などを見せて、その都度修理しながら、皆の絵本というように理解できるようにする。 ・ 皆の絵本というように理解できるように、大切に扱う方法を見せる。 ・ 固定遊具のボルトの緩みや材質の老化はないか目視で確認し修正する。 ・ 石ころを拾うだけでも、こどもたちが、自分で探して拾ってくれたり、遊具の破片を届けてたりするようになり、皆で注意がひろがった。 ・ 個々に花の種からまいて、水やりや草抜きなどみんなでとりくめた。 	<p>A</p>

<p>保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以上な暑さ続きで、いつでも水分補給ができるように、水筒持参をお願いします。 ・感染症の報告や症状についてもお知らせして、注意喚起をした。 ・就学前の子どもの保護者と面談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が自分の物、人の物としっかり理解し大切に扱うことができていた。 事前にお知らせしたことで、保護者の方々の対応が早くなり、抑制に繋がり意識を高められた。 ・保護者の方の不安なことやこれからの方向性を共有できた。 	<p>A</p>
<p>特別支援の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談を6月・10月・3月と年3回実施する。 ・診断的にはっきりしたところで、保護者の方にも報告したり一緒に関わり方を学び対応方法考えた。 ・学校やおおぞら保育園などとの連携を取らせていただき、学校・友だちへの不安を楽しみに繋げる活動へ拡げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスより、心配や不安なことがある園児について、心理・身体・言葉など細かに観察していただき、日々の保育者の関わり方に役立てた。 ・保護者との連携を大切にしながら、一緒にすべき方向を確認できた。 ・最初の頃より一人ひとりが自分から話せたり、積極性が出てきて逞しさを感じられ、成長を感じた。 	<p>A</p>
<p>保育の振り返り</p>	<p>※<u>年長・年中1期</u>の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や仲間と遊ぶことを楽しみ色々なことに興味を持ち必要なことは、自分で頑張る。 <p>※<u>年長・年中2期</u>の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共通の目的を持って遊ぶことを楽しむ。(自分の思いも主張しつつ相手の存在をも知る。) <p>※<u>年長・年中3期</u>の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の目的を持って遊ぶことを楽しむ。 ・健康で安全な生活に必要な行動をみにつける。 <p>※<u>年長・年中4期</u>の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と園生活を楽しみ個々が考えて行動しようとする。 ・進級・進学に期待を寄せて、自信を持って園生活を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の身支度は自分で頑張れる。お喋りや目に入る遊具などで手が止まり声かけや援助する事で頑張れた。 ・したいことや遊びの内容について皆が発表できとても良かった。 ・運動会・ちびっこ祭りなど行事を通して、自分たちで決めたり選んだりして、話し合うことで積極性が出てきた ・ルールを通じてお互いに理解できる場面が増えてきている。 ・異年齢差があるので、仲立ちしながら、感情のコントロールができた。 ・排泄・着脱・健康・清潔などの項目を毎日の生活の丁寧な関わりをすることで、個々の苦手部分や得意部分がわかり、ゆっくり丁寧に進められた。 ・残りわずかな..4.5歳児との活動での卒園式の練習で涙ぐむ姿が見られた.年長組の勉強する姿や終了賞を受ける姿に憧れの念を感じてたようだ。 	<p>B</p> <p>A</p>

3歳児クラス名：ぺんぎん組

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	
教育部分	・日々自分で考える事大切にし、最低限の言葉かけを意識する。	・困っているときには、出来るだけ子どもからの言葉を待ち、「どうしたの?」「どうしてほしいの?」と、自分の言葉で伝えるように促し、待つようにした。	A
研修（資質の向上の取り組み）	・保育・教育に関する新しい情報を常に意識し、書籍や動画を用いて学んだ。	・図書館で本をかりて読んだり、子どもとのかかわり方の動画を見たり、気になることはその都度自分で調べ実践できるようにした。	A
教育・保育環境設備	・子どもへの関わり、援助を第一に、余裕があるとき、休みの子が多い時などを利用して取り組むようにした。	・ほこりや汚れに気づいた時には、その時、その時で少しずつ掃除をした。外遊びのときには、草抜きをし、その様子を見た子どもたちも「一緒にしたい」と楽しみながら除草作業ができた。	B
保護者との連携	・登降園時、連絡帳のやり取りの中で、子どもの様子や気になる事を簡潔に伝える。	・保護者も忙しいので、できるだけ短く、分かりやすいように伝える努力をした。 ・書面に書けない内容や大切なことは、口頭で伝えるように配慮した。	A,
特別支援の取り組み	・一人ひとりの状態・状況に合わせた関わりを日々考えながら援助にあたる。	・8名在籍のなかに、2名気になる、支援を必要とする子どもがおり、常にこの2名に対応できるように加配の職員、年長・年中児クラスの担任と連携を取りながら対応することができた。 ・ほめる、認める、納得できることを大切に、子ども自身のお話をよく聞いて日々保育にあたった。	A,
保育の振り返り	・年中・年長組の先生と協力して日々の保育や行事に取り組む。	・自分が妊娠中ということで、周りの人たちに支えられてどうにか12月まで仕事をする事ができた。 ・子ども達もお腹の中の赤ちゃんの事を気にかける様子があり、みんなの優しさをすごく感じた一年だった。	A

2歳児クラス名：うさぎ組

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	
<p>保育部分</p> <p>教育部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの様子を丁寧に見守り、安心して過ごせるよう配慮する。 ・子どもの発達に応じた活動や遊びを考え、取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を見ながら、情緒が不安な時は寄り添ったり、無理なく活動できるようにしたりと、安心して生活ができる様に努めた。 ・晴天時は戸外で体を動かせられるようにし、虫の観察や落ち葉を使った遊びなど自然に親しみながら過ごすことができた。 ・室内ではサーキット遊びや体操などで体を動かす工夫をした。 ・決まった生活の流れの中で過ごしながら、衣服の着脱・排泄・食事・後始末など身の周りの事を自分でやってみることができるよう援助していった。 	<p>A</p>
<p>教育・保育環境 設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策をする。 ・季節を身近に感じられる様な環境を用意する。 ・園庭や保育室を安全に整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手指が触れる機会の多い、出入口のガラス・ドアノブ・手すりやトイレ、玩具・テーブル・イスなどの清拭、消毒を丁寧に行う。 ・水道には、イラストで示した手洗い順のポスターを掲示し丁寧な手洗いの仕方を分かりやすく伝える。 ・季節に合った絵本の読み聞かせや、歌を歌うようにし、季節を感じ取れるようにした。 ・子どもの手が届く場所に危険なものはないか、遊具・玩具は欠けているものはないか、点検を行う。子どもの動線を妨げない様に環境を整えた。 	<p>B</p>
<p>保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳などで園での様子や家庭での様子を伝え合い、コミュニケーションを図りながら、信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子は、機嫌・食事・睡眠・排泄など送迎時や連絡帳などで伝え合い、体調に気を付けて過ごせるようにした。 ・送迎時の短い間ではあるが、子どもの成長を共に喜び、コミュニケー 	<p>B</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防について家庭でも協力を頂く。 	<p>ションを図るようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生の情報など速やかに知らせ、家庭でも気を付けていただいたり、咳や鼻水が出ている時には、早めの受診を進める様にした。 ・子どもが身の周りの事を自分で行いやすいよう着脱しやすい衣服を進めたり、取り出しやすいバックの中の整頓(入れ方の工夫)をお願いするようにした。 	
保育の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子の観察・記録を通して、次へと繋げる。 ・ヒヤリハットを記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月案・週案を基に保育を行い、振り返りや評価から次へと繋げるよう意識した。 ・日々の保育の中で、子どもの視点に立って気持ちを理解できたか、対応は適切だったか、振り返るようにした。 ・保育者間では、子どもの成長を喜び合ったり、課題について話し合ったりし、自身の保育に活かすようにした。 ・ヒヤリハットを記録することで、事故防止・再発防止に対する意識を高めることができた。 	A

1歳児クラス名：ひよこ組

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	
保育部分 教育部分	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2歳児の発達に応じた遊びを再度工夫し、保育に取り入れていく。 ・観察と記録を行い、次へつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指遊び、絵本は、季節や興味に応じて選ぶ。 ・製作は、タンポからスタートし色々な素材を経験させた。 ・晴天時は常に戸外遊びを主とし、室内では手作りサーキット等行う。 ・発表会は日常生活の中で活動している指遊びで構成された曲の選択で楽しむ。 	A
研修(資質の向上の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修 研修報告・月一回の職員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人防護具を各クラスに準備する。(手袋・エプロン・マスク・新聞紙) 	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・手作り教材の作成 (・エプロンシアター・なぞなぞブック・サーキット用具など) 	
教育・保育環境 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を行う。 ・季節を身近に感じられる様な環境作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の換気(空気清浄機設置場所の検討、常に2か所以上窓は開けておく、1時間ごとの換気を行う。) ・身の周りの消毒(清拭・消毒)を行う。(手指が触れる機会の多い場所、トイレの便座およびその蓋、ドアノブ、水道の蛇口、手すり、遊具など) ・季節の草花を保育室に飾る。(身近な昆虫の飼育、貝殻、どんぐり、松ぼっくり、大根など、季節に応じて身近に置き、生活の中で触れられる様にしていく。) 	A
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳などで、子どもの様子を伝え合い、保護者の思いをしっかりと受けとめて信頼関係をつくっていく。 ・感染症予防について家族でも協力をしていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の体調の変化・機嫌・食事・睡眠・排泄の様子を丁寧に伝える。特に健康状態は細かく伝え合う。また、体調によっては早めの受診をお願いする。 ・「自分で」という場面の多くなる時期、大人が先に手を出さず、見守る事の大切さを伝えたり、子どもが自分で着脱しやすい衣類をお願いする。 ・外出時のマスク着用、手洗い、うがいなどの声掛けをする。 ・島外へ出た場合のPCRまたは抗原検査をお願いする。 	A
保育の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を取りつつ、日々の生活や遊びを楽しく充実したものにできる様に工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清拭・消毒と室内換気を行う。 ・戸外遊びを主としながら、色々な遊びを経験させる。 ・基本的な生活習慣の個人差に応じて経験させる。 	A

0 歳児クラス名：たまご組

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	
<p>保育部分</p> <p>教育部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。 ・衛生面で安全な環境の中で、身体活動や探索活動を十分にやり、運動機能や探索意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安な様子の中には、抱っこをして、優しく話しかける。 ・常に近くにいて見守り、フォローできるようにしている。 ・園庭活動後、汗をかいたら沐浴をして、快適に過ごせるようにしている。 ・体を十分に動かせるスペースを確保して、安心して遊ぶことができるようにしている。 	B
<p>教育・保育環境 設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生活のリズムを大切に、生理的欲求を十分に満たす。 ・特定の保育者との応答的な関わり、触れ合いの中で愛着関係を築く。 ・身近なものに興味を示し、見たり触れたりする。 ・保育者の語り掛けに、表情や喃語・片言で答えようとする。 ・指差しや身振り手振りで保育者に伝えようとする。 ・音のリズム、心地よい歌を聞くと自分から動く。 ・温度・湿度・換気を適切に管理。 ・施設内外の設備・用具等の清掃および消毒。 ・一人一人の発達に合わせた離乳食を進め、食べる意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の体調や、昨夜の様子を確認しながら、活動内容の変更及び、ゆっくり過ごせる時間を設ける様にしていった。 ・常に声を掛け、一緒になり遊び、触れ合いを多く取り入れた。 ・絵本や玩具など手の届く所に置き、自分で探し遊べるようにした。 ・毎朝絵本の読み聞かせや手遊び歌など身振りを交えて、ゆっくりとした口調で一緒に楽しめる様にしていった。 ・体操を毎日行い、自然に体が動けるようにしている。 ・湿度・温度計を常に管理し、室内機を利用して調整している。 ・朝夕の室内の消毒、玩具等の消毒を行いながら、破損がないかの確認を毎日行った。 ・離乳食の内容など、給食担当と連携を取り、無理なく進められる様にした。 ・そしゃくが上手に出来るように、声掛け、食べ物の好みが出てきたときは、「おいしいね」「もぐもぐ」などの言葉を掛け、無理強いせずに進 	B

		めている。	
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園や家庭での様子を伝え合い、園児の成長を喜び合えるよう、信頼関係を築いていく。 ・健康状態を確認し合い、園での様子を丁寧に伝える。 ・個々の発達状態や離乳食の進み具合を保護者と共有しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の受け入れ時には、昨夜の様子、睡眠時の様子、食欲などの確認、留意することを伺い、降園時は園での様子を伝えている。 ・園での活動の様子を言葉と、写真を提示することで、成長を共に確認し喜び合うようにしている。 ・個々のアレルギーの状態を給食担当と共有している。 ・家庭と連携をとり、徐々に食べられる食材があれば、部分的に取り入れて無理なく幼児食に移行できるようにしている。 	A
保育の振り返り	<p>・感染症予防の観点から、活動内容の変更、異年齢との交流の縮小と制限されている中、個々の成長に合わせて無理のない範囲で楽しめる様にしていった。まず大きな活動の一つとして、7月2日の運動会参加。まだ月齢も低い中、戸外活動を多く行い、戸外でも自由に動けるようにした。その為、湿度・気温のチェック・水分補給をこまめに行い、体調の確認をしながら、無理のない範囲で楽しみながら戸外での練習又、室内でも、体を動かせるように、広い場所を確保し安全に努め、十分な運動に心掛けていった。当日は慣れない雰囲気の中で、泣かずに、体を自由に思うように動かせることができたと思う。次に生活発表会。まず取り組んだのが、一定時間座って待つことが出来るようにする。みんなが集中して楽しむ絵本の読み聞かせや、手遊び歌を身振りを交えて行った。興味のある絵本を探す、一緒になり手遊び歌が出来るように日々行った。次に何をやるかなど一つ一つ言葉にして丁寧に話をしていた。その後保育者の話を静かに聞いている姿が多くみられた。又、いつでも音楽が聞こえる環境を作り、保育者も一緒に体を動かすことで楽しむ事ができた。発表会当日は、体調不良の園児も数名いた為、泣いて不安な様子が広がっていたが、抱っこや声掛け、触れ合いで安心できるように努めた。舞台上では、音楽が聞こえるといつものように体を動かし楽しむ様子がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でしようとする姿、言葉で伝えようとする又は、話を聞こうとする様子、集中して好きな遊びに取り組む、など個々の成長の度合いはあるが、できた喜びから自信や満足につながり、意欲を高めることができた。 		A